



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 デンヨー株式会社

上場取引所 東

コード番号 6517 URL <https://www.denyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白鳥 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理部門長 (氏名) 田邊 誠 TEL 03-6861-1111

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	24,836	2.0	1,615	19.8	1,689	22.0	1,173	18.6
2021年3月期第2四半期	25,346	16.0	2,014	24.0	2,167	18.1	1,442	21.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,047百万円 (32.1%) 2021年3月期第2四半期 1,550百万円 (16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	56.25	
2021年3月期第2四半期	69.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	78,458	63,054	77.4
2021年3月期	79,057	61,564	75.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 60,752百万円 2021年3月期 59,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		22.00		25.00	47.00
2022年3月期		22.00			
2022年3月期(予想)				25.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.6	3,900	26.9	4,100	27.4	2,750	28.8	131.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は本日(2021年11月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料) 8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	22,859,660 株	2021年3月期	22,859,660 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	1,992,142 株	2021年3月期	2,003,959 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	20,860,102 株	2021年3月期2Q	20,848,623 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載の業績予想には発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信(添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2021年11月18日(木)に証券アナリスト及び機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により複数の都道府県で緊急事態宣言が発令されるなど依然として厳しい状況が続きました。また、世界経済も、ワクチンの普及に伴い欧米の経済活動は再開となりましたが、アジアでは移動制限の継続した地域もあり厳しい環境となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、公共工事など建設需要は底堅く推移いたしました。急激な感染拡大により各地で予定されていた製品展示会が中止になるなど販売機会の減少が生じました。海外においては、日本からの輸出は回復基調で推移いたしました。供給面において、世界的な半導体不足に加え感染拡大が続く東南アジアからの部品供給が滞ったことにより、一部製品の生産に影響が生じました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、第二次中期経営計画に基づき、海外販売の強化や新製品の開発・販売など各種施策に注力し、生産の正常化や原価低減にも努めてまいりましたが、売上高248億36百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益16億15百万円（同19.8%減）、経常利益16億89百万円（同22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億73百万円（同18.6%減）となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

なお、各セグメントの連結業績は、各地域を所在地とする当社及び連結子会社各社の業績を基礎としております。したがって、日本セグメントの連結業績は2021年4月から9月まで、日本以外のセグメントの連結業績は在外連結子会社の第2四半期決算日が6月末日であるため、2021年1月から6月までのものとなっております。

(日本)

日本では、国内向けは、高水準で推移していた停電対策用の発電機の需要に落ち着きが見られましたが、工用の大型発電機の出荷が増加しました。また、海外向け製品の輸出も、中近東市場向けなどに発電機の出荷が増加しました。この結果、売上高199億15百万円（前年同期比6.3%増）となりました。一方で、原材料価格や物流コストの上昇により、営業利益12億72百万円（同9.8%減）となりました。

(アメリカ)

アメリカでは、ワクチン接種が進み需要は堅調に推移しておりますが、主要部品の調達難や人手不足などの影響により米国工場の生産に一部遅延が生じたことから、売上高34億31百万円（同31.4%減）、営業利益18百万円（同90.2%減）となりました。

(アジア)

アジアでは、一部地域において、感染再拡大による行動規制の影響がありましたが、オーストラリアや香港向けの出荷が堅調に推移いたしましたことから、売上高14億59百万円（同0.1%減）、営業利益2億98百万円（同32.4%増）となりました。

(欧州)

欧州では、EU域内でのロックダウンの影響により需要が低迷したこともあり、売上高29百万円（同78.7%減）、営業損失8百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、541億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億10百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が36億43百万円減少した一方で、現金及び預金の増加16億99百万円、商品及び製品の増加9億24百万円などによるものであります。

固定資産は、243億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億88百万円減少いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具の減少2億53百万円などによるものであります。

この結果、資産合計は、784億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億99百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、125億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億51百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が11億94百万円、短期借入金が11億7百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、28億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億62百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が7億83百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、154億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億89百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は、630億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億90百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上11億73百万円や、配当金の支払5億41百万円、その他の包括利益累計額の増加7億40百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント上昇し、77.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済活動の再開を背景に需要は回復傾向にありますが、半導体のほか主要部品の不足により一部製品の供給に支障が生じており、また、原材料価格や物流コストの上昇などその影響が懸念される状況となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、供給の早期回復とコスト抑制に努め、影響が最小限になるよう努めてまいります。

連結業績予想につきましては、足元の事業動向や現時点での入手可能な情報、予測等に基づき2021年5月13日に公表いたしました連結業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日（2021年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,913	23,613
受取手形及び売掛金	17,436	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	13,792
電子記録債権	3,426	3,543
有価証券	999	999
商品及び製品	4,636	5,560
仕掛品	1,566	1,662
原材料及び貯蔵品	4,073	4,625
その他	396	340
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	54,443	54,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,145	7,163
機械装置及び運搬具（純額）	2,526	2,273
土地	5,047	5,051
建設仮勘定	20	15
その他（純額）	225	240
有形固定資産合計	14,964	14,745
無形固定資産	583	633
投資その他の資産		
投資有価証券	8,750	8,617
その他	317	331
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,065	8,946
固定資産合計	24,613	24,324
資産合計	79,057	78,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,773	7,578
電子記録債務	1,991	2,246
短期借入金	1,317	210
未払費用	514	477
未払法人税等	978	448
賞与引当金	637	719
役員賞与引当金	83	37
製品保証引当金	126	133
その他	1,010	731
流動負債合計	15,434	12,582
固定負債		
長期借入金	—	783
リース債務	267	277
繰延税金負債	1,358	1,335
退職給付に係る負債	401	391
その他	31	31
固定負債合計	2,058	2,820
負債合計	17,493	15,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,954	1,954
資本剰余金	1,779	1,779
利益剰余金	54,766	55,397
自己株式	△2,350	△2,335
株主資本合計	56,149	56,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,643	3,612
為替換算調整勘定	△417	348
退職給付に係る調整累計額	△10	△5
その他の包括利益累計額合計	3,215	3,956
非支配株主持分	2,198	2,301
純資産合計	61,564	63,054
負債純資産合計	79,057	78,458

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	25,346	24,836
売上原価	19,529	19,268
売上総利益	5,817	5,567
販売費及び一般管理費	3,802	3,952
営業利益	2,014	1,615
営業外収益		
受取利息	24	20
受取配当金	83	82
受取家賃	38	41
為替差益	38	—
その他	28	27
営業外収益合計	213	171
営業外費用		
支払利息	29	26
売上割引	11	—
持分法による投資損失	8	2
為替差損	—	57
その他	11	10
営業外費用合計	60	96
経常利益	2,167	1,689
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	28
特別利益合計	—	29
特別損失		
固定資産処分損	0	37
特別損失合計	0	37
税金等調整前四半期純利益	2,166	1,682
法人税、住民税及び事業税	658	515
法人税等調整額	△3	△8
法人税等合計	654	507
四半期純利益	1,512	1,174
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,442	1,173
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339	△30
為替換算調整勘定	△307	898
退職給付に係る調整額	6	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	38	872
四半期包括利益	1,550	2,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,551	1,913
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	134

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,166	1,682
減価償却費	527	673
受取利息及び受取配当金	△107	△102
支払利息	29	26
持分法による投資損益 (△は益)	8	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△28
売上債権の増減額 (△は増加)	2,897	3,719
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,306	△1,316
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,020	△1,098
その他	△211	32
小計	2,982	3,588
利息及び配当金の受取額	121	115
利息の支払額	△29	△26
法人税等の支払額	△1,113	△1,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,961	2,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△987	△350
無形固定資産の取得による支出	△16	△7
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	81
その他	1	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,003	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	0	0
長期借入れによる収入	—	782
長期借入金の返済による支出	—	△1,107
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△520	△541
非支配株主への配当金の支払額	△74	△30
その他	△7	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△602	△905
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	279
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	217	1,699
現金及び現金同等物の期首残高	21,054	22,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,272	24,613

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費又は営業外費用で計上しておりました報奨金や売上割引については、売上高から控除しております。また、買戻義務を負っている有償支給取引については、従来は有償支給した原材料等について消滅を認識しておりましたが、引き続き棚卸資産を認識すると共に、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について有償支給取引に係る負債を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は53百万円、売上原価は13百万円、販売費及び一般管理費は27百万円それぞれ減少したことで、営業利益は12百万円減少し、さらに、営業外費用が11百万円減少したことで、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円減少しております。また、売掛金は6百万円減少し、製品は4百万円、原材料及び貯蔵品は40百万円、流動負債その他は40百万円それぞれ増加しております。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,739	5,006	1,461	138	25,346	—	25,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,260	94	1,542	2	2,899	△2,899	—
計	20,000	5,101	3,003	140	28,246	△2,899	25,346
セグメント利益又はセグメント損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,410	194	225	△0	1,829	184	2,014

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,915	3,431	1,459	29	24,836	—	24,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,090	148	2,222	2	4,464	△4,464	—
計	22,006	3,580	3,682	31	29,301	△4,464	24,836
セグメント利益又はセグメント損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,272	18	298	△8	1,581	33	1,615

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

製品区分別及び販売地域別に分解した収益の情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

製品区分の名称	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	増減	前期比 (%)
発電機	20,072	19,297	△774	△3.9
溶接機	2,206	2,499	293	13.3
コンプレッサ	424	383	△40	△9.6
その他	2,642	2,654	12	0.5
顧客との契約から生じる収益	25,346	24,836	△510	△2.0
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	25,346	24,836	△510	△2.0

(単位：百万円)

販売地域の名称	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	増減	前期比 (%)
日本	16,329	15,465	△864	△5.3
海外	9,017	9,371	354	3.9
アメリカ	6,156	5,736	△420	△6.8
アジア	1,938	2,095	157	8.1
その他	921	1,539	617	67.0
顧客との契約から生じる収益	25,346	24,836	△510	△2.0
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	25,346	24,836	△510	△2.0